

第十回 グラスフィールドカップ‘2011震災復興チャリティーへのご案内

東日本大震災のあまりにも被害の大きさに声もなく涙するばかりです。
突然の自然の猛威の中、犠牲になられた多くの皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。
避難生活を送られている多くの被災者の皆様には、一日も早い身の安全の確保と復興へ向かって
笑顔で前を向き立ち上がられ、震災前の生活に戻れるように倶楽部員一同心から願っています。

私達耳納グライダー山スカイスports倶楽部部員一同は、今回のグラスフィールドカップの大会
予定に当たり開催すべきか自粛すべきか思い悩み多くを語り合いました。

この未曾有の大惨事を前に自粛すべきではとの意見もありました・・・が被災地より遠く離れた
私たちに「今」出来ることは、これから先多くの困難を乗り越えなんとしても立ち上がり復興を
目指される被災者の皆様方に、フライヤーとしての応援メッセージを発する事も必要ではないの
かとの思いに至りました。

毎年 後援を頂いていました久留米市（市長杯）や地元皆様からの後援はこれをすべて辞退し
競技の冠は頂かずフライヤー上部団体（社）日本ハング・パラグライディング連盟の大震災義援金の
呼びかけに歩調を合わせ、東日本大震災復興への応援と支援チャリティー大会を開催する運びと
なりました。

【第十回 グラスフィールドカップ ‘2011】

略 称 【グライダー山 震災復興チャリティー大会】

を開催いたします。

大会の運営は耳納グライダー山スカイスports倶楽部員のボランティアとし、エントリーフィー
はその全額を震災復興の義援金といたします。また合わせて大会当日には募金箱も準備いたしま
すので参加選手やご賛同の皆様も多くのご協力をお願いいたします。

すべての義援金は（社）日本ハング・パラグライディング連盟を通し被災地にお届けいたします。

今大会ではエントリー選手の皆様には、名誉と入賞者にはJHF賞状の授与しかありませんが
大会実行委員会の趣旨をご理解いただき多くの応援、支援のエントリーをお願い致します。

大会当日は、お時間の都合を付けて頂き友人お知り合いの方ほかお誘い合わせの上
久留米市草野町 耳納連山グライダー山にお運び戴けます様にご案内申し上げます。

記

日 時 2011年4月24日（日）
9時30分より開会式（ランディングゾーン）
10時30分よりフライト開始（久留米市草野町グライダー山テイクオフ）

場 所 開会式 パラグライダー・ランディングゾーン
テイクオフ場所 グライダー山山頂・テイクオフゾーン
フライト場所 耳納連山～草野町～筑後平野上空一帯

後 援 （社）日本ハング・パラグライディング連盟

役 員 ・大会委員長 中野 春生 ・実行委員長
・競技委員長 ・大会事務局

第十回 グラスフィールドカップ'2011
震災復興チャリティー大会

- 主 催 耳納グライダー山 スカイスポーツ倶楽部
- 共 催 スカイクルーズ／空狂's
- 後 援 (社)日本ハング・パラグライディング連盟
- 開催地 草野町 耳納連山グライダー山エリア (福岡県久留米市草野町)
- 日 時 4月24日 (日) 8:30受付開始
- 参加費 2,000円 (食事・飲物は各自ご用意下さい)
- 参加資格 JHF/NP証以上・フライヤー登録有効者 又は他団体の同等以上の有資格者
で高々度フライト及びいかなるランディング状況場所に於いても、共に安全かつ
確実に出来る者
- 競技内容 シークレットパイロン (天候により変更あり)
- 参加方法 スカイクルーズ事務局に、何らかの方法で参加の意思を連絡し、当日受付時間に
本人が参加費を添え自署する事 (代理は認めません)
- 参加締切 定員40名になり次第締切り、但し定員に満たない場合は当日受付終了時間
(9:30)まで受付
- 表 彰 入賞者にはJHF賞状を準備予定

■タイム・スケジュール

08:30	受付開始	(倶楽部ハウス駐車場)
09:30	受付終了後、開会式及び競技内容の説明	(ランディング・ゾーン)
10:00	テイクオフへ移動	(送迎車で移動)
10:30	ゲートオープン	(ダミーテイクオフ)
16:00	ゲートクローズ	(各所撤収準備)
16:30	ランディングクローズ	(各所撤収)
17:00	成績発表、表彰及び閉会式	(倶楽部ハウス駐車場)

■大会運営委員

- | | |
|------------|-----------|
| *総合ディレクター | *撮影係り |
| *MLDディレクター | *MLDサポーター |
| *TOディレクター | *TOサポーター |
| *SLDディレクター | *SLDサポーター |
| *送迎車両係り | |
| *記録係り | |

*救急班

■補 足

- *本大会での一切の責任は事の如何に関わらず選手個人の責に帰するものとし
エントリー用紙に自署した時点でこれに選手自身が同意したものと認定致します
- *TOでラインチェック等のスペースが有りませんので、セットアップできる状態での参加
若しくはLDにてセットアップしてTOをお願いします。
- *エリア規則等詳しい事は、<http://www.asahi-net.or.jp/~zz3j-hrt/index.htm>
- *連絡先 スカイクルーズ事務局

★電話

★メール

競 技 規 則

■フライトについて

- *フライト回数は2回とし、リフライトの場合は前回のフライトポイントは無くなります
ただしフリーフライトの宣言をすればこの限りでは有りません
- *1本目のフライトは10番目の選手がテイクオフして1時間（競技委員長の判断にて前後する）以内に完了しなければならない その後競技委員長がリフライト開始の宣言をします
- *TOで風速5 m/sを超える時 その他競技委員長が危険と判断した時は競技の中断若しくは中止をする事が出来るものとします
- *ランディング直前の危険行為等は各LDディレクターが判断しその時点で失格とします
- *雲中飛行は競技委員長が判断しその時点で失格とします
- *飛行中の優先権は JHF フライト規約に準じます

■大会の成立

- *ゲートクローズまでに参加選手中10名以上がフライトすれば成立したものとします

■タスクの説明

- *5ヶ所のシークレットパイロンを確認しM・SLDゾーンにセーフティランディングする

■得 点

- *MLD/100点 SLD/100点 各パイロン/100点
但し サブにランディングした時のパイロンの得点は総て半分になります
- *メイン サブLDゾーン内以外（アウトサイド）での着地は総て得点無しとします。

■順位の設定

- *1フライトの得点順位 同得点の場合フライト時間の短い方を上位とします
- *フライト時間は各LDの記録員に選手自身が帰着申告をした時点での計測とします

■不服申し立て（コンプレイン）

- *クレームは事の如何に関らず一切受け付けをしない
- *グライダー山エリア規則を熟読・理解のうえフライトして下さい

■通信機器

- *大会の運営は簡易型デジタル無線機器（合法無線）及び省電力無線機器を用い運用する
- *以外の通信機器は合法的かつ安全確保上の問題に置いてのみしか使用できない

■各ポイント間直線距離（km）

- *回収送迎は TO～MLD～SLDを結ぶ道路上のみです
- *尚 回収送迎の最終は15：00頃ですのでご注意ください

	TO	発心城 址	さざんか山	MLD	倶楽部ハ ウス	小学校	河川敷	SLD
TO		1.2	0.8	2.7	3.4	4.5	6.2	6.2
発心城址	1.2		1.8	3.0	3.8	4.7	6.2	6.2
さざんか山	0.8	1.8		2.8	3.4	4.6	6.2	6.2
MLD	2.7	3.0	2.8		0.8	1.8	3.4	3.5
倶楽部ハウス	3.4	3.8	3.4	0.8		1.3	2.8	2.9
小学校	4.5	4.7	4.6	1.8	1.3		1.6	1.7
河川敷	6.1	6.2	6.2	3.4	2.8	1.6		0
SLD	6.2	6.2	6.2	3.5	2.9	1.7	0	